意見箱No.	受付日	ご質問およびご相談（読みやすくするために一部修正している箇所があります。なお、類似したご質問やご相談は、代表的なものを掲載しています。）	回答	備考
1	2020/4/24	パソコンにカメラがついておらず、ヴェブカメラを買おうとしても売り切れていて買えません。Zoomの授業では、カメラオフの状態でも受講可能ですか。	カメラオフでも受講可能であるかどうかは、担当教員に早めにご相談ください。また、技術的にはスマートフォンをウエブカメラにして、Zoomにも対応できる方法があります。詳しくは、以下のURLをご参照ください。 （iPhone）https://syobon.jp/blog/2020/04/07/iphone-web-camera-ivcam/ （Android）https://yamanashisyuukyaku.com/useful-info/droidcam-webcamera/	
2	2020/4/25	Zoomに関して質問です。学生が授業開始までに必要なZoomの準備は、無料のアカウントを作成するだけでよいのでしょうか。	アカウントの作成だけでなく、できれば操作方法もある程度知っておいたほうがよいでしょう。経済学研究院ホームページにオンライン授業特設ページ（https://www.econ.kyushu-u.ac.jp/kyoumu/online/）を設けており、このなかにマニュアルもありますので、参考にしてください。	オンライン授業特設ページのURLを修正
3	2020/7/3	全体として課題が多すぎる。オンライン授業になり評価が難しくなっていることは十分理解しているが、小レポートや中間レポートの負担が明らかに高すぎる科目が複数ある。学生は多くの講義を履修しており、それに加えて就活活動やアルバイトで忙しい生活を送っていることを、今一度理解してもらいたい。	オンライン授業における課題量の多さについては、先日実施しました「経済学部・学府のオンライン授業に関する学生アンケート調査」でも複数の回答者から改善要望をいただいております。これについては、非常勤講師を含めて教員間で情報共有しており、引き続き改善を図ります。	
4	2020/7/3	コロナ克服後も、特に1限の授業についてはオンライン授業(ただし出席必須)にすることを要望したい。大前提は対面講義にすべきとは思うものの、1限授業の場合、かなり早朝から通学・通勤を求められていた学生・教員がいる中で、1限をあえて対面講義にしなければならない説得性ある理由が思い当たらない。	授業特性やとくに学部についてはオンライン授業で履修できる単位数の制限等の検討課題を踏まえながら、実現可能性について検討します。	

5	2020/7/4	リアルタイム授業もオンデマンド授業も、どちらも丁寧に説明してくれるのでありがたい。対面授業を受けたことがないので分からないが、対面授業と同等のクオリティの高い授業が行われていると、個人的には思う。	ありがとうございます。引き続き、オンライン授業へのご協力、よろしくお願いします。	
6	2020/7/14	先日行われたオンライン授業に関する学生アンケート調査の結果を、早く掲載してほしいです。	お待たせしており、申し訳ございません。準備が整い次第、この特設ページで掲載します。	オンライン授業特設ページで掲載済
7	2021/4/7	オンライン授業は少なくとも今年度（2021年度）までは継続して欲しい。コロナの変異種等が今後広がりを見せる中で、キャンパスまで長時間バスにのって移動すること自体にリスクしか感じない上、家で授業を受けられる手軽さを踏まえれば、わざわざ片道１時間以上、満員のバスに乗って毎日通う事が無駄にしか感じられない。そして、大学としては後期以降のオンライン化に関してはその時の状況を見て判断したいのだろうが、オンラインが続くかどうかはできるだけ早くアナウンスして欲しい。毎週大学にいく必要があるか否かで住む場所・就活・インターン等の選択の幅が大幅に変わってくる。よって、9月になってから、など直前にアナウンスをされても困る、というのが本音だ。可能であれば、今回の前期の形態は通年で適用する事を即決し、即座に発表していただきたい。	ご意見、ありがとうございます。経済学部・学府では、感染予防の観点からだけでなく、学生アンケート調査を踏まえたオンライン授業に対する評価やニーズも踏まえながら、各種オンライン授業を行っています。そのうえで、対面授業再開の諸条件を踏まえて、クォーター各学期開始のおおよそ1ヶ月前をめどに、対面授業を行う科目を決定することにしています。最新の感染状況を踏まえながらの判断となりますので、ご理解のほどよろしくお願いします。	
8	2021/4/7	オンライン授業によって自分の都合のいい時間に授業を受けられ、わかりやすい資料を見ることができます。オンライン授業で、自分自身の学びが高められる気がします。	ご感想、ありがとうございます。引き続き、オンライン授業の質の向上に取り組んでまいります。	

9	2021/4/7	感染者数が減っている時は、対面の授業をもっと増やしてほしい。	ご意見、ありがとうございます。授業については、感染状況が落ち着いている等、一定の条件を満たしている場合において、経済学部の授業のうち双方型の少人数授業を中心に、対面授業の再開を行うことにしています。詳しくはホームページに掲載している「2021年度春学期・前期（前半）における授業形態」をご覧ください。	
10	2021/4/7	グループ活動など、他の学生との交流ができるようにしてほしい。	ご意見、ありがとうございます。グループ活動についてですが、授業以外の課外活動については学務部学生支援課が担当となりますので、そちらへご要望等を提出してください。他方で授業については、意見箱No.9への回答をご覧ください。	
11	2021/4/7	I would like to suggest we continue the online-class instead of face-to-face. The pandemic is still sever, it is not wise to re-start face-to-face class this soon.	Thank you for your comment. Current class policy of our faculty is not different from your advice. Please continue to cooperate with us.	
12	2021/4/8	基幹教育、他学部、他大学は対面がほとんど再開されているので、経済学部としてもせめて半分程度は対面を再開してほしい。その際、曜日ごとに対面とオンラインで分けられていると移動が少ないため効率的だと感じる。	ご意見、ありがとうございます。経済学部におけるオンライン授業の考え方につきましては、意見箱No.7への回答をご覧ください。また、時間割上の調整が必要であることは認識しており、オンライン授業がより恒久的なものになった段階で本格的に検討します。	
13	2021/4/13	授業中に窓やドアを開いているために、騒音が気になります。また、学府のコンピュータルームが昨年度から閉室になり、不便です。最新のパソコン、印刷機、ホチキスなどを整ってほしいです。	授業中の窓やドアの開放は、十分な換気を行うためのものです。また、コンピュータルームにつきましては、感染状況が落ち着いたら経済学研究院の方針に従って、速やかに再開いたします。いずれもご不便をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。なお、印刷については、院生コピールームでもUSBを用いて可能ですので、ご利用ください。	

14	2021/5/12	授業のレコーディングの徹底をお願いしたいです。授業中にTAに録画ができていないことをチャットで指摘しましたが、30分以上無視をされた後、結局講義の５分間しか録画されていませんでした。また、録画されていなかった回の講義だけでも、昨年度の動画を見ることはできないのでしょうか。併せて、TAの職務に対する意識もともに改めていただけますと幸いです。	レコーディングの問題についてはすでに担当教員から相談を受けており、オンラインチームよりアドバイスも行っております。担当教員に確認したところ、その後の授業では録画できているとのことでした。その際併せて、TAの対応についても伝えております。また、過去動画についてはQBS支援室で準備中であり、後日通知される予定であるとのことです。	
15	2021/7/15	とある授業が、オンライン授業下での適切な授業提供とは言えないような授業になっていると思います。また、授業での課題も、市販の教科書の演習問題をそのまま出すだけで、これでは授業を受けているのか、自習をしているのかが分かりません。オンラインへの対応は、教員も学生も大変ではあると思いますが、この授業では勉学へ励む学生の努力を無下にしていると思います。改善よろしくお願いします。	不十分な内容でオンライン授業が提供されているとのことで、大変申し訳ありません。当該教員に対しては改善の依頼を行いましたが、これに対して今後の対応策について連絡を受けております。	
16	2021/7/24	7月26日からの授業は全面的にオンライン授業にするべきと思います。既に通知されている満たされるべき条件のうち、「新型コロナウィルス感染症の状況が、全国でもまた福岡県内でも十分に収束していること」という条件は満たされていないためです。感染者が数十人で減少傾向であった時でさえ、全面オンライン授業になっていたのに、感染者が100人を超える日が続いているときに対面をしていて良いとは思えません。	ご意見ありがとうございます。申し訳ありませんが、諸般の事情から今すぐ全面オンラインに変更することは難しいので、経済学部の全教員に対して「現在の感染状況に鑑み、前期終了までの間、対面可とされている授業であっても、QBSの授業を除き、できるだけオンラインで授業を行うようにしてください。どうしても対面で授業を行う必要がある場合には、感染防止にくれぐれも留意するとともに、対面で参加できない学生のために、必ずハイフレックスで授業 を実施してください。」と学部長から通知しました。対面で実施される授業については、オンラインで受講してください。	

17	2021/10/19	オンライン授業、全体的には満足しています。先生も学生もZoomの操作に慣れてきて、対面とほぼ変わらないと感じます。少なくとも今年度の後期までは、対面とのハイブリッド講義等でオンライン授業も残して欲しいと思っております。	対面授業とほぼ変わらないという評価を与えていただき、ありがとうございます。経済学府のうち、QBSについては専攻単位で判断が行われるところもありますが、新型コロナの感染状況だけでなく、オンライン授業によって得られる諸効果を踏まえながら、少なくとも今年度についてはオンライン授業の実施や活用を積極的に行っていきます。	
18	2021/10/19	コロナ禍なので致し方ないと思う。オンライン授業も2年目でもう慣れた感じだが、モチベーションの維持は各自の力量である。やはり対面の方が積極的になれたり、アイデアも活発に出たりすると感じるが、今となっては無事に修了することに集中したい。	オンライン授業へのご協力、誠にありがとうございます。対面授業時に及ばない点もあるかと思いますが、学びに集中していただける環境づくりに、教員一同引き続き努めていきます。	
19	2021/10/19	今期いっぱいは、オンライン授業が望ましい。	1年生については基幹教育が中心となりますが、これらについては基幹教育科目に関するオンライン授業の方針が適用されます。経済学部のそれとは一部異なるところもありますので、ご注意ください。	
20	2021/10/19	感染が怖いため、正直オンラインで助かっております。	ありがとうございます。引き続き、オンライン授業へのご協力をよろしくお願いします。	
21	2021/10/20	ほとんどのTAの質が良くないように思います。例えば、TAにメッセージを送っても無視をされたことがあったり、出席をしてるのに出席を取られていないクラスメイトがいたり、やるべきことができていない印象です。時々先生の回線にトラブルがある時も、普通ならTAが動く必要があると思いますが、学生が先生にその旨を伝えています。「何をしているのか？」と問いたくなります。オンラインでも、学生が安心して講義を受けられるようにしていただきたいです。（掲載にあたって、一部内容を省略させていただきましたが、ご投稿いただいたすべての内容は関係者に伝えております。）	ご意見ありがとうございました。TAが適切に業務を遂行できなかったことをお詫びいたします。今後、QBSとして改善を図って参ります。	

22	2021/10/23	2年生は基幹教育を対面で受けておらず、学部の人との交流がなかったので、対面で受けることができる授業を増やしたり、ハイフレックス型の授業を増やしてほしい。	ご意見、ありがとうございます。基幹教育科目のうち高年次教育科目等、センターゾーン以外で行われる科目については、授業を実施している部局の方針に沿うことになっています。そのうえで、経済学部のオンライン授業に関する方針は、意見箱No.7およびNo.9（なお、授業形態に関する最新のアナウンスは、経済学研究院のホームページに掲載）への回答を参照してください。	
23	2022/4/20	オンデマンド授業を視聴する場合、いつ視聴しても成績には問題ないのでしょうか。	担当教員がとくに指示をしていなければ、成績評価で不利益を被ることがないことが通常です。心配な場合は、担当教員にお問い合わせください。	
24	2022/4/20	大学入学以降、ほとんど対面授業を受けていないです。基幹教育・理系学部はもとより、法学部でも昨年度後期からは対面授業が原則として行われている。経済学部も対面講義を行うように取り組むべきであると考える。「各教授の意向に一任する」とか、「当分はハイフレックス、春学期はハイフレックス」というあいまいな対応を取られ続けては、我慢できない。いい加減に対面授業を行ってほしいし、対面授業を行うための感染症対策を考える時間は十分すぎるほどにあったはずです。いまだにオンライン授業が主流なのは、経済学部の怠慢ではないのだろうか。経済学部学部・学府の全講義を原則対面で実施できるよう、何卒よろしくお願いします。	ご意見、ありがとうございました。経済学部では、今年度の前期（および春学期）から、経済学研究院が対面授業を許可している期間においては、演習系科目を中心に対面授業を優先して実施する方針を設けています。その検討過程では、経済学部のカリキュラムや学習形態の特性に加えて、他部局ではほとんど実施されていない、学期末ごとのオンライン授業に関する学生アンケートの結果（オンライン授業特設ページで公表）も踏まえました。その結果、演習系科目では対面授業でもオンライン参加ができるようにハイフレックス授業を推奨し、また講義系科目では対面授業で行う場合も、録画もしくは録音の提供を行うようにしています。最後に、学生と同じく教員についても、本人や家庭の事情により、現時点での感染状況下では、授業形態について一定の配慮が必要な場合があります。ご理解のほど、よろしくお願いします。	

25	2022/4/20	もっと対面授業を増やしてほしい。確かにオンラインの方が楽だが、大学に通っているのだから、キャンパスで友人達からの刺激を受けながら授業を受けたい。他学部と比べて特に経済学部はオンラインが多いと思う。そのため、オンライン学部と揶揄されることを聞いたことがある。コロナを考慮しているのはわかるが、他学部の授業で対面推奨なのに、経済学部だけオンラインというのは理にかなっていないと思う。	ご意見、ありがとうございました。回答は、意見箱No.24へのものとおおよそ重なりますので、まずそちらをご覧ください。経済学部においても、キャンパスでの友人づくりや、友人達から刺激を受ける学習環境づくりを軽視しているわけではなく、このために対面授業については、演習系科目を最優先で開講する方針を設けています。これまでのオンライン授業に関する学生アンケート調査の結果から、コロナ禍でのオンライン授業を経験するなかで、学生の間でも大学の学び方をめぐって様々な意見や要望があることを把握してきました。それらを踏まえたうえで、コロナ禍以前よりも充実した授業を提供するために努めています。	
26	2022/4/20	福岡市内では未だコロナ感染者が多い状況であり、今後も新たな変異株が出現し波を繰り返すことが予想されます。現在はオンライン授業を選択できることで安心して学べています。新型コロナウィルスが国民のコンセンサスとしてインフルエンザのような取り扱いとなるまでは、条件等を設けずオンライン授業を継続してほしいと思います。授業においては、マイクがマスクに接触して雑音が入り音声が聞きにくい場合があることと、カメラが自動で動かない場合があり、板書が見えない場合や音声が聞こえにくい場合がありますが、講義の質を損ねるような事態は経験していません。	オンライン授業について評価していただき、ありがとうございます。マイクがマスクに接触した際の雑音については、気づいていない場合も少なくないと思われますので、情報共有をしておきます。また、カメラの件につきましては、トラブル発生後に行った対応について、確認が不十分であったことに由来しますので、今後は対応後の確認作業を徹底することにします。	
27	2022/4/21	伊都キャンパスでオンライン授業を受講している際に、大学のWi-Fiの接続状況が悪い結果、Zoomのアプリケーションが落ちたり、止まったりする。	ご不便をおかけしており、申し訳ありません。伊都キャンパスの教室でオンライン授業を受講する際には、edunetとkitenetの両方に接続できるようにしたうえで、まずは通信容量が大きいedunetのほうに接続するようにしてみてください。	

28	2022/4/21	オンラインと対面が1日に混合してて、非常に分かりづらい。正直、今もオンライン授業の方が多いので、オンラインに統一していただけるとありがたい。お昼を挟んで対面なら良いが、1限はオンライン2限は対面となると、かなり忙しい。また、対面の授業も教室にかなりの人数がいるため、少し不安ではある。	現時点において、演習系科目ではハイフレックス授業を推奨しており、講義系科目の対面授業では、録画もしくは録音の提供を行うことにしています。また、オンライン授業も指定された教室で受講できます。以上のことから、混合していることによる影響を、最小限に抑えるようにしています。最後に、教室収容定員の2/3までとすることが現時点のルールですが、不安を感じる授業があれば担当教員にご相談いただくか、この意見箱で再度お伝えください。	
29	2022/4/25	授業動画の提供が、非常に助かっています。復習用にも利用しています。	ありがとうございます。引き続き、復習にもご利用ください。	
30	2022/4/25	話し合い活動などは、discordやTeamsといったチャットアプリを用いて行えるのではないか。	情報のご提供、ありがとうございました。教員にも共有させていただきます。なお、経済学部のオンライン授業ではZoomの使用を原則としていますが、それ以外の手法については各教員に任せています。	
31	2022/4/28	授業全般でオンライン形態を強く希望します。	ご要望、ありがとうございます。経済学部では、新型コロナ感染症の予防や合理的配慮だけでなく、コロナ禍後を見据えた教育の質向上に資する、対面授業とオンライン授業とのベスト・ミックスを実現するためにも、現時点においてオンライン授業を推進しています。	
32	2022/5/9	引き続きオンライン型式でも授業を受講できる体制を希望します。	ご要望、ありがとうございます。QBSでは、受講の利便性を考慮しつつ、QBSが目指す教育目標の実現にとって最適となる授業形態を選択していきたいと考えています。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。	
33	2022/10/20	分からなかったところや板書が間に合わなかったところを何度も戻って見ることができるため、対面の授業よりも学習しやすいと感じている。ディスカッションなどがない授業では、オンラインやオンデマンドの方が周りに気が散らず勉強しやすい。	ご感想、ありがとうございます。現在、学部専攻教育科目については、演習系科目を中心として原則ハイフレックス授業としたうえで、受講者数や科目特性に応じたかたちで授業を提供しています。引き続き、オンライン授業へのご協力を、よろしくお願いします。	

34	2022/10/20	ミクロ経済学I・IIは、経済学部必修の授業で受講人数が非常に多いため、担当の先生の判断によってオンデマンド形式に変更されたことは、コロナの面においても、また、学習の面においても非常にありがたかった。これからも受講人数が多い授業に関しては対面ではなく、オンラインやオンデマンド形式での授業を行ってほしい。	ご感想、ありがとうございます。経済学部では受講者数が多いなどの学習環境だけでなく、学習効果も含めてオンライン授業を提供することを、担当教員には求めています。	
35	2022/10/20	インターネットで調べながら受けられるので、理解度が上がっていると感じる。早送りや巻き戻しができるので、効率が良い。	ご感想、ありがとうございます。オンデマンド授業の利点を活かした学習を、引き続き行ってください。	
36	2022/10/20	経済的な理由で毎日バイトをして、なんとか生活していけている。仮にコロナに感染してしまったらバイトを休まなければならないことに加え、治療費もかかる。勉強は教室で受けなくても一生懸命やれば単位は取れるが、体調を崩してしまっては本当に生活に困る。原則オンラインにしてほしい。	ご意見、ありがとうございます。経済学部・学府では、コロナに感染した場合でも、学生が学習の機会を奪われることのないようにしています。不安がある場合には担当教員にご相談いただくか、またそれが難しい場合は、この意見箱を通していつでもご連絡ください。	
37	2022/10/20	身だしなみを気にせずにリラックスして受講できるので、より学習に集中することができて良かった。	ご感想、ありがとうございます。時には身だしなみも大事ですが、オンライン授業の利点を活かした学習が引き続き行われることを期待します。	
38	2022/10/20	遅刻や休みとならずに済む日があるので、とても助かっている。継続してほしい。	ご感想、ありがとうございます。オンライン授業で生活のリズムを崩す場合も少なくありませんので、ご注意ください。	
39	2022/10/20	就活もあるので、オンラインの方が気軽に受けられて便利に感じています。	演習系科目がハイフレックス授業で開講されるなどの例外はありますが、就活との関係からオンライン授業にすることは恒久的にはありませんので、くれぐれもご注意ください。	
40	2022/10/20	これからもオンラインでお願いします。	ご要望、ありがとうございます。経済学部では、新型コロナ感染症の予防や合理的配慮だけでなく、コロナ禍後を見据えた教育の質向上に資する、対面授業とオンライン授業とのベスト・ミックスを実現するためにも、現時点においてオンライン授業を推進しています。	

41	2022/10/20	オンラインは継続してほしい。(原則は対面でOKであるが、オンラインの場合も事前に連絡等を求めないでほしい。ただし、授業内容にもよると思うが）九州から全国・海外に展開するビジネスマンの創出を求めていると思う。出張等で九州にいないことは、ざらに出てくるのではないか。オンラインは学びの質が落ちると聞くが、だから対面に限定するのではなく、いかに質を同レベルまで持っていくかを検討するほうが、遥かに前向きである。	QBSでは、単なる知識の伝授だけでなく、教員および学生間の相互交流を通じて、新たな事業価値を生み出す志や姿勢を育むことを人材育成の目標として掲げています。確かにオンラインツールの活用により知識の伝授の面では、対面と遜色のない水準を実現しつつあります。その一方で、人との交流を通じた価値観の共鳴やモチベーションへの刺激は、現時点ではオンラインよりも対面が勝っていると考えます。現在利用可能な技術ならびに授業環境の下では、対面受講が最も効果的と考え、オンライン受講はやむを得ない場合の補助手段として位置付けているのです。 本意見箱にご意見を頂いた方は、対面原則の主旨をご理解いただいた上で、効果的な学びの観点からオンライン受講の可能性について建設的なご意見いただいています。しかし、残念ながら一部には、利便性の観点からいささか安直にオンライン受講されている方も見受けられます。QBSの学生は出張が多く、オンラインでなければ授業に出席できない場合があることは承知しています。オンラインでの出席時に事前連絡を求めるのは、グループワークなど授業進行の準備に必要という実務的理由に加え、なし崩し的に受講原則を損なうことに歯止めをかけるためでもあります。 オンラインツールの可能性は、今後もQBSとして追及し続けていきます。QBSにおける授業のあり方に関するご意見やご提案は大歓迎ですので、今後とも建設的なフィードバックを頂ければと思います。 （QBS教務担当統括　目代武史）	
42	2022/10/20	入学当初は、教室にいながらオンライン上で授業を聞くスタイルに戸惑いましたが、慣れました。先生によってマイクの性能に差があり声が聞き取りにくいことがあるので、改善していただきたいです。	ご感想、ありがとうございます。マイクの件につきましては、現状について早速確認したうえで、必要な対応を検討します。	

43	2022/10/20	イーストゾーン2号館において、オンライン授業を受けられる空き教室を知りたいです。掲示されているのであれば、場所を教えてください。	イーストゾーン2号館の入口のうち、同1号館からの入口左手に掲示されています。ただし、対面授業やハイフレックス授業で教室利用が増えてきていますので、オンライン授業は時間割で指定されている教室で、できるだけ受講してください。	
44	2022/10/20	特に問題なく、スムーズに受講できる状態だと思っております。	ありがとうございます。引き続き、オンライン授業へのご協力をよろしくお願いします。	
45	2022/10/20	講義などの一方向型の授業では全く問題ないが、グループ学習などの双方向型の授業では対面の方がコミュニケーションも取りやすいため、講義形態での使い分けをしてほしい。	学部専攻教育科目のうち、演習系科目については原則ハイフレックス授業で行うことにしていますので、ご要望のような使い分けを行っています。ただし、担当教員の事情等によって、一部の科目では行っていない場合もあります。その場合、受講者からの問い合わせには応じるように求めていますので、まずは担当教員にお問い合わせください。	
46	2022/10/20	オンライン授業はすごく便利だが、リアルタイムのオンライン授業は逆に時間の使い方が難しくなってしまうので、オンデマンドが最も学生にとっては助かる。リアルタイムのオンライン授業であれば、対面の授業と併用してほしい。	学部専攻教育科目のうち、講義系科目のハイフレックス授業については、現行では対面授業がこれまで少なかった3・4年次生科目を中心に行うことにしています。また、低学年次生科目については複数クラスで開講されているものもありますが、それらについては授業形態を揃える必要があります。ご理解のほど、よろしくお願いします。	

47	2022/10/28	ディスカッション等の学びの質を維持・向上するために原則、対面授業のルールを改めて明確化したことは重要と思いまし、その方向性はブレずに発信し続ける必要があると感じます。一方で、オンライン授業があるために欠席せずに授業に参加でき、ディスカッションや質疑に参加できることも非常に大きな価値ですので、オンライン授業は継続いただきたいと強く感じます。（ちなみに「オンライン授業」はオンライン限定で提供されている授業のことではなく、通常の授業をオンラインで受けることと解釈して解答しています。オンライン限定の授業も増やしていただけると学びの機会が広がります。）	QBSとしては、今後も対面受講を原則としつつ、当面（現在の在学生がいる間）は事情のある場合にはオンラインによる受講も可能とする体制（つまりハイブリッド方式）を継続する予定です。ただし現時点では、特別な事情（例えば、外部非常勤講師の都合によりオンラインでしか講義できない場合など）を除いて、QBSではオンライン限定の講義を実施する予定はありません。講義方式のベストミックスについては、あくまでQBSが目指す育成人材像の観点から今後も様々な可能性を追及していく考えです。（QBS教務担当統括　目代武史）	